

笑顔大好き

発行者：常井洋治
〒319-0205 笠間市押辺1745
TEL.0299-45-6818
FAX.0299-45-0818



▲ 栗収穫機開発に向けて、小澤栗園の小澤一男園主（私の右側）と私が発起人となって意見交換会を開催しました。茨城高専の澤畑博人副校長、神野河彩子校長特別補佐、岡本修教授、IT未来高校の辻武伺校長、笠間市内の栗生産者あいきマロンの稲垣繁實さん、JA栗部会の國谷博隆部会長、加工業者の小田喜商店の石田啓一社長、JA常陸の秋山豊組合長、県の農林水産部・産業戦略部の幹部、市関係者合わせて30名に参加して頂き、大きな期待の声が寄せられました。（令和7年5月1日）

—— 燃える郷土愛。全力投球!! ——

栗収穫機の開発に再挑戦

皆様には、常日頃から私の政治活動に対し、温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

茨城県は栗生産年間3,870トン（令和5年）の日本一を誇っています。その中で、県内第一位の生産地である笠間市の「笠間の栗」は、ブランド化がようやく定着して、農家の収入も、ここ数年で3～4倍になっています。しかし、栗の生産で栗拾い作業は、大変な手間と重労働になっており、長年の懸案です。これが、解決できれば、栽培面積も増やせて、収入もアップすることができます。

私は、県議会議長時代に、議長プロジェクトとして、AIを活用した栗収穫機開発を掲げ、試作機、試験作業までしましたが、使い勝手の良いものにはなりませんでした。

この度、上記の新しい栗収穫機の開発の意見交換会を開催し、ひたちなか市にある茨城工業高等専門学校、いわゆる茨城高専へ協力を要請して新たな挑戦をすることになりました。同校の卓越した技術とアイデアを栗収穫機開発に提供して頂くようお願いしたところです。

現場の声に熱心に耳を傾けていただいた茨城高専の先生方と今後の方向性を詰めていって、何としても、開発に結び付けたいと思っています。

皆様には、引き続き、絶大なるご指南をお願い申し上げます。



茨城県議会議員

常井洋治

県立中央病院と県立こども病院の統合方針のもと

TOPIC①

新県立病院整備検討委員会が発足

〇スケジュール

- ・令和7年度：基本構想のとりまとめ（コンセプト、診療機能、病床規模など）
 - ・令和8年度：基本計画のとりまとめ（外来・入院等各部門の整備方針、施設整備計画、医療機器整備計画など）
- ※県立中央病院長、県立こども病院長、病院事業管理者などで構成する「新県立病院整備検討実務者会議」が上記委員会に並行して、開かれます。

TOPIC②

県立中央病院の現状

- ・医師数約150名のうち、筑波大学からの派遣医師は約6割を占めている
- ※医師の働き方改革で、筑波大学も派遣医師を減らさざるを得ないことから、今回の病院の統合再編の契機となっています。
- ・お産取扱件数 令和7年度 約350件（見込み）
- ※笠間市内の民間の産科病院が無くなってしまったため、県立中央病院が対処している。

TOPIC③

“皆さんの声に ところいが動く”

ところい洋治が皆さんとともに進める、地元の道路・河川・農地の整備

私、常井洋治が、地元の皆さんから様々な要望を受け、水戸土木事務所、県央農林事務所土地改良部門の幹部との勉強会を開催しました。毎年開催し、今年で27回目となります。着実に整備を進めています。主だった箇所の進捗状況をお知らせします。(※は常井洋治コメント)

水戸土木事務所との勉強会 (R7.5.29)



▲水戸土木事務所の成瀬真勝所長(写真左奥) はじめ幹部に対し、地元事業の円滑な推進を求めた。

[道路関係]

①国道355号穴戸橋の架替(南小泉～橋爪地内 L=390m W=13.5/6.5m)の整備

【令和7年度予算：30百万円】

- ・令和6年度は、物件補償調査を実施した。用地進捗率は約8割。
- ・現在、繰越予算にて、道路改良工事を実施中。
- ・令和7年度は、引き続き、用地買収を進める。

②杉崎友部線(小原地内(友部駅方面～廣慶寺手前) L=350m W=9.75/6.0m)の整備

【令和7年度予算：104百万円】

- ・令和6年度は、用地買収、道路改良舗装工事を実施した。用地取得完了。
- ・令和7年度は、引き続き、道路改良舗装工事を実施する。

※県立中央病院移転先への重要なアクセス道路であるため、国道50号方面への整備促進を要望した。

③稲田友部線(上加賀地内 L=1,300m W=11.5/6.0m)の整備((仮称)笠間PAスマートIC関連)

【令和7年度予算：226百万円】

- ・令和6年度から、用地買収に着手した。
- ・令和7年度は、地質調査、測量、設計、用地買収、道路改良工事を実施する。

④石岡城里線バイパス(長兎路地内 L=2,700m W=27.0/13.0m)の整備

【令和7年度予算：450百万円】

- ・令和6年度は、用地買収を実施した。用地進捗率は約9割。
- ・現在、繰越予算にて、樋管工事、道路改良工事を実施中。
- ・令和7年度は、引き続き、用地買収を進めるとともに、橋梁下部工事、樋管工事を実施する。

⑤稲田友部線(本戸地内 L=2,315m W=11.0/6.0m)の整備

【令和7年度予算：170百万円】

- ・令和6年度で、埋蔵文化財調査が終了した。
- ・現在、繰越予算にて、道路改良工事を実施中。
- ・令和7年度は、道路改良工事を継続実施し、早期整備を図る。

⑥富谷稲田線(稲田地内 L=2,500m W=10/6m)の整備

【令和7年度予算：14百万円】

- ・令和6年度は、用地買収を実施した。

- ・令和7年度は、引き続き、用地買収を進める。

⑦南指原岩間停車場線(上郷 L=300m W=2.5m)の歩道整備

【令和7年度予算：20百万円】

- ・令和7年度は、測量、設計を進める。

※安全な通学路となるよう整備を求めた。

⑧平友部停車場線(友部駅前 L=320m)の電線地中化

【令和7年度予算：15百万円】

- ・令和7年度は、歩道舗装工事を実施する。

⑨橋梁の耐震補強

【令和7年度予算：143百万円】

- ・JR水戸線を跨ぐ国道355号の諏訪跨線橋(笠間市大田町)について、橋梁の耐震補強工事を実施する。(JR委託施工)

⑩橋梁の修繕

【令和6年度補正予算：139百万円】

- ・常磐自動車道を跨ぐ上吉影岩間線の大笹橋(笠間市押辺)について、橋梁の修繕工事を実施する。

⑪道路の舗装修繕

【令和7年度予算：70百万円】

- ・茨城岩間線(押辺地区)
- ・友部内原線(鯉淵地内)(発注済、6月中に完了)
- ・日立笠間線(大淵地区)

⑫道路照明

- ・国道355号外において、老朽化した道路照明灯をLED照明に更新する。

⑬交通安全施設の更新

- ・国道355号外において、交通安全施設(老朽化した標識、消えた白線等)を更新する。

⑭真端水戸線の整備(スターツ笠間ゴルフ倶楽部付近)

【令和7年度予算：25百万円】

- ・令和6年度は、地質調査、軟弱地盤解析を実施した。
- ・道路流末排水に係る測量設計を進める。

⑮笠間つくば線(下市毛地内(ガソリンスタンド付近) L=180m W=2.5m)の歩道整備

- ・未買収地の買収に向け調整を進める。

⑯大洗友部線(仁古田地区)の整備

- ・茨城町境橋梁部(一の橋)の整備は、未買収地(共有地)が取付部分にかかるため、橋梁を含め工事は用地解決後となる。

- ・笠間市側、茨城町側の両方に共有地があり、解決に時間を要する。引き続き、笠間市及び茨城町と連携しながら、共有地の買収に向け調整を進める。

※進捗の目途が立たないため、南側への道路位置の変更を提案した。交通危険箇所を放置すべきでない。

⑰吾国山道祖神峠のトンネル化

- ・地域振興に向けた地元における今後の取組み等を勘察しながら、どのようにすれば事業が可能か、関係者と協議していく。

[公園関係]

⑱笠間芸術の森公園

【令和7年度予算：30百万円(うち20百万円は営繕課で執行)】

- ・令和7年度は、イベント広場東トイレ(男子トイレ)の洋式化改修工事、前年度同様に未供用部の事業地管理工事等を実施する。

[河川関係]

①9 濁沼川の改修事業の促進 (中流工区 L=9,300m)

【令和6年度補正予算：250百万円】

- ・JR常磐線からJR水戸線までの河川改修を進めている。
- ・令和6年度は、亀の甲橋上流区間において河道掘削工事、河川改修工事を実施した。
- ・令和7年度は、JR常磐線上流部にて河川改修工事を実施する。
- ・下加賀田橋上流区間の右岸側について、住民説明会を実施する。

②0 濁沼川の改修事業の促進 (笠間工区 L=2,400m)

【令和6年度補正予算：200百万円】

- ・JR水戸線から国道50号までの河川改修を進めている。
- ・令和6年度は、昭和橋から片庭川合流点までの一部区間において護岸及び排水樋管工事を実施した。
- ・令和7年度は、引き続き笠間高校付近において護岸工事を実施する。

②1 通常砂防事業費 (砂防指定地 南指原川 (本戸地区))

【令和7年度予算：15百万円】

- ・南指原川の砂防堰堤1基の補修設計を実施する。

②2 国補急傾斜地崩壊対策事業

【令和6年度補正予算：4百万円】

- ・笠間市内における土砂災害警戒区域・特別警戒区域の調査を実施する。

②3 県単河川防災費

【令和7年度予算：145百万円】

- 1) 濁沼川 (大淵地区) 護岸工
- 2) 間黒川 (箱田地区) 用地測量
- 3) 片庭川 (石井地区) 設計、用地測量、用地買収
- 4) 二反田川 (南吉原地区) 護岸工
- 5) 濁沼川 (安居地区) 竹木の伐採
- 6) 濁沼前川 (下市原地区) 浚渫
- 7) 桜川 (下郷地区) 浚渫
- 8) 笠間市全域 維持管理 (濁沼川等)

②4 県単急傾斜地崩壊対策事業費 (仁古田東部地区)

【令和7年度予算：30百万円】

- ・令和6年度は、法面対策工事に着手した。
- ・令和7年度は、引き続き法面対策工事を進める。

②5 交通渋滞の対策

※道の駅、旭町山新前の通りの交通渋滞の緩和方策を県が市や国と一緒に講じることを要請した。



▲県央農林事務所の大内正光(中央)ら幹部に地元事業の円滑な推進を求めた。

県央農林事務所土地改良部門との勉強会 (R7.5.29)

○笠間市内の県営土地改良事業の進捗状況 (令和7年6月現在)

上段 () はR6補正予算等で外数

(単位:千円)

地区名	工期	全体		令和6年度までの進捗	令和7年度		令和8年度以降	
		事業量	事業費		事業量	事業費	事業量	事業費
(かんがい排水) 押辺・安居	R3~R9	用水 99.7ha	1,134,800	25%	用水 43.5ha	(144,000) 80,000	用水 42.5ha	630,800
(経営体育成) 笠間大淵	R2~R9	区画整理 31.2ha 暗渠排水 26.2ha	1,326,500	76%	区画整理付帯工	(13,860) 0	暗渠排水 26.2ha	307,600
(経営体育成) 石井来栖福田	R4~R12	区画整理 74.1ha 暗渠排水 69.7ha	2,105,500	5%	荒整地 9.3ha 測量設計	(78,400) 53,000	区画整理 74.1ha 暗渠排水 69.7ha	1,872,500
(経営体育成) 友部中央	H30~R8	用水 35.3ha 排水路 1.9km 農道 2.0km	1,202,200	76%	排水路 0.8km	(160,000) 30,000	用水 0.7ha	99,000
(経営体育成) 南友部	R2~R9	区画整理 14.2ha 暗渠排水 14.2ha	477,500	72%	暗渠排水 4.4ha	(16,000) 20,000	区画整理 0.3ha	99,500

○笠間市内の団体営土地改良事業の進捗状況 (令和7年6月現在)

上段 () はR6補正予算等で外数

(単位:千円)

地区名	工期	全体		令和7年度		令和8年度以降	
		事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
(取水堰) 大池田上福田	R7~R8	取水堰改修1箇所	60,000	調査設計一式	4,000	取水堰改修1箇所	56,000

保健福祉医療委員会の質疑要約 (R7.6.12)

●統合される中央病院とこども病院の機能について、新病院での機能維持の徹底と住民への丁寧な説明を。アクセス道路の検討を。

●選定療養費については、県民の声無き声を傾けよ。

●孤立死を防ぎ、高齢者の安心を守る仕組みを。

【病院局】

常井委員 中央病院とこども病院の統合による新県立病院の救急は、現在の中央病院の二次救急、こども病院の三次救急まで担えるのか。

丹経営管理課長 新病院においても、少なくとも現在の

機能は必要であると考えている。また新たな設備や人員の充実などにより、より質の高い救急医療を提供できると考えている。

常井委員 中央病院は、入院・外来問わず、多くの笠間市民が利用している(入院42.7%、外来44.3%)。新病院において、現在の診療科が維持されるのか、説明がなく見えてこないが、見通しは。

丹経営管理課長 ほかの4つの公的病院の議論が進まない明確な答弁はできないが、現在の診療科については最低でも維持していく必要はあると考えている。その中でも、がん、小児、周産期は、地域でもトップの病院となることを想定している。

常井委員 10年以内の開院を目指すという前提で、開院までの全体スケジュールを示すべきではないか。

丹経営管理課長 開院まで10年と公表しているのは、

他県事例を参考にしたものである。現状では、土地の買収もできていない状況であるため、事業の進捗に応じて早く詳細なスケジュールを公表できるように努めていく。

常井委員 これまで、笠間市民に対して、県から説明の機会は無かったが、今後、笠間市民に対してどのような説明の機会を設けていくのか。

丹経営管理課長 現在決まっているものは無いが、情報の発信は必要だと考えている。地元とは適宜コミュニケーションを取れるよう努めていきたい。

常井委員 移転の理由として、現在地は4車線道路でないため、救急車が対応できないという説明だった。(新病院の)利用者の利便性を確保するためにも、アクセス道路体系については、全体を見直す必要があると考える。病院局だけではできないため、県土木部や市町村、関連団体なども含めたプロジェクトチームが必要ではないのか。

丹経営管理課長 アクセス道路の検討も必要と考えているが、現段階で具体的な体制までは至っていない。どのような体制でしっかりできるのか全庁的に考えていきたい。

常井委員 このようなことを考えていかないと良い病院にはならない。次回の委員会では、その体制を発表できるようにしてほしい。

(その他県立こころの医療センターの予約の取りづらいつい状況等について質問)

【保健医療部】

常井委員 水戸地域医療構想調整会議で10年間議論してきた機能分担、集約化の結論がでなかった。今回、県立2病院の統合を先行して、残る公的4病院の機能分化について、県が議論を加速化するとの説明を受けたが、公的4病院(水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター)の機能分担、統合等の話が進まない、新県立病院の内容が決まらないのではないのか。

丸山保健医療部長 6病院によるワーキング会議において、新県立病院の機能を検討するうえで、公的4病院の機能分担が論点となっており、公的病院の経営にも関わるため、5月の会議ではかなり闊達・忌憚のない意見が交わされた。県としては、率直な意見交換ができる環境作りや、データで裏付けた議論の投げかけ等により、公的4病院の主体的な意見を引き出していく。

常井委員 公的4病院の統合方針は、1つを拠点病院、3つを連携病院群にすることに変わりはないか。

丸山保健医療部長 公的4病院から1つの拠点病院を見出すことは間違いない。連携病院群については、(残る病院の)一定程度の集約化は不可避との認識を共有している。

常井委員 新県立病院は、筑波大学附属病院に匹敵する高度医療ができる病院にすると聞いた。どのようなイメージか。

丸山保健医療部長 医療の質のレベルが匹敵するものとイメージしている。将来の医療需要を見据えつつ、高い質の医療を提供し続けるための規模・機能を今後、議論したい。病院の規模ではなく、最新の医療を提供することに核を置きたい。

常井委員 救急搬送時の選定療養費(例えば、緊急性が低い患者が救急車で県立中央病院に搬送された場合、7,700円の費用が発生)について、一人暮らしの高齢者から(これまでのように)救急車を呼べなくなってしまうとの不安の声が耳から離れない。高齢者ほど救急車を呼び控える状況になってしまっているのではないのか。

村上企画室長 対象病院とは、やむを得ない事情がある場合は、各病院の判断で、徴収対象外として差し支えないと申し合わせている。緊急時は迷わず救急車を呼んでもらえるようしっかりと周知していきたい。

【福祉部】

常井委員 昨年に、死後8日以上で発見された一人暮らしの方が2万1千人(いわゆる孤立死)、年代別では65歳以上が8割、そのうち男性が8割という調査結果が出た。一人暮らしの高齢者は不安感を感じている。孤独死・孤立死を防ぐために、市町村においては見守りや身元保証などを行っている(ところもある)。国は社会福祉法の改正を検討して、身寄りのない高齢者支援を拡充しようとしている。国も市も動いているときに、県は動きがない。県の役割についてどのように考えているか。市町村の取組には温度差があるため、どの市町村においても同じ支援が受けられるようにするのが県の役割ではないか。一方、健康寿命を延ばそうと活動するシニアもいる。私が提案した茨城県健康長寿日本一を目指す条例第19条の心の健康と保持等を実現するため、多様な働く場が必要である。福祉部は、孤独死・孤立死対策や仕事の斡旋など、そういうところが弱い。職員一人ひとりが、もう少し積極的に取り組んでもらえればと思うが。

市村福祉部長 福祉部の課題は、年々多様化していると考えている。アンテナを高くして、今及び一歩先に何が必要なのかという視点を持って業務に取り組んでいく。



県保健福祉医療委員会での質疑の様子

とこい洋治が見つけた地元の元気!



▲80年前に旧ソ連に不法占領された北方領土四島を取り戻すため、諦めず地道な運動を続けたい。小学校まで国後島で生活していた海野さん、木本県議と。(令和7年5月)



▲筑波海軍航空隊慰霊の集いには、園児や小学生が久しぶりに参加してくれた。次代にこの地の歴史と戦死された方々の日本の平和と繁栄への思いをしっかり継いでいきたい。(令和7年5月)



▲JA常陸の新しい栗選果施設が完成した。AIセンサーで選別の精度が向上し、「笠間の栗」のブランドが高まることを期待している。(令和7年5月)

HPアドレス●<https://tokoiy.jp/>をぜひご覧ください。
フェイスブックもどうぞご覧ください。皆様のご意見をお待ちしています。

ホームページ フェイスブック